

# やすらぎ

特養住民  
佐々木アキノ筆

第16号

発行 平成14年6月25日  
編集 社会福祉法人やすらぎ会  
広報委員会



☺ お花に負けず笑顔も満開 ☺

〈デイサービスかたくりの園で花玉づくりをする北村ヤエノさん〉

- ◆ 特別養護老人ホームぶなの園
- ◆ デイサービスセンターぶなの園
- ◆ 沢内村在宅介護支援センター
- ◆ ホームヘルプステーションぶなの園
- ◆ 西和賀介護相談室

沢内村大字太田第2地割135番地 ☎0197-85-2322

- ◆ 沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園

沢内村大字大野第17地割140番地1 ☎0197-85-3388



# ご家族と共に

## 快適な生活を 追求します。

特養ぶなの園住民の生活は、ほとんどが集団での生活となっています。食事、入浴等もその通りです。しかし、集団的ではあっても住民一人ひとりの暮らし方を尊重し、援助することが私たち職員の大切な役割です。

そのためには、施設が単に住民の心身の状況に応じて、その生活の援助をさせていただくだけでは不十分です。住民やご家族等からご意見をいただき、共に援助のあり方を検討し、少しでも快適に生活していただくことがとても大切です。

現在ご意見をいただく場として、住民懇談会・家族懇談会・家族会を定期的に開催しています。(もちろんこれだけでなく、いつでもお受けしています) 住民の方にはご自分の意志を伝えることが困難な方もいらっしゃるのでは、年に四回開催

している家族懇談会・家族会からのご意見はとても大切です。今年の一月と四月に開催した家族会からは、合わせて二〇件ほどのご意見をいただきました。

たとえば「髪の毛がのびやすい人なので、理容の回数を増やしてもらえないか」「決まった時間以外にも、おむつ交換をしてもらえないか」「自分で食べるのが難しいので、食事は最初に出してもらわないと冷たいものを食べている」などです。入浴・排泄・食事といった基本的介護に對してだけではなく、生活が単調であることへのご指摘や精神的に安心した生活への配慮に對するご意見などもありました。

事業開始後五年目介護の基本に對するご指摘などは大変申し訳なく思っています。これらのご意見に對して、特養に關係する職種(介護職員・生活相談員・看護師・栄養士・介護支援専門員)



ご家族が家族の様子を連絡ノートに書く

### 家族会からの 要望とその対応

Q 居室で見当たらない服や物品が目立つので管理してほしい  
a. 度々指摘があり改善されないため担当を決め対応する。また、ご家族が気付いた際意見をいただけるように、各居室へ連絡ノートを設置します。

Q 介助を必要とする方に食事の配膳が最後のほうなので、食事が冷めてしまっている。  
a. 介助が必要な住民への配膳と介助を優先します。

貴重なご意見ありがとうございます。

で検討を行いました。その結果すぐに改善できることは改善し、介護その他を行っています。具体的には、理容の回数については、沢内村理容組合に協力をお願いし、月一回から月二回実施にしていだけました。また、一人ひとりの排泄の間隔に合わせたおむつ交換をするよう努力しています。そして、食事は介助が必要な住民に最初に配膳し、すぐに職員が介助させていただきます、その方のペースを大切にできるように心がけています。前述しました他のご希望などに對しては、検討した内容をできるだけ早く

く文章で家族会に伝えるよう努めています。すぐにお答えできません。ご意見を検討し結果を出すことは、住民の介護や生活の向上につながるだけではありません。介助の心構えを原点がら見直すご指導と職員一同心を引き締めています。

このように家族会からのご意見は、些細なことでも住民の生活を守るため、豊かにするためにはとても重要です。住民一人ひとり、そのご家族の意向があつてこそ、住民への援助は安心した生活となります。今後とも居室のノート、その他を懇談会等でご意見をたくさんお出し下さい。  
〈特養 生活相談員 前島正人〉

# 健康はきれいな歯から

## 訪問歯科診療を一年実施して

住民の健康管理は沢内病院の佐藤先生にご協力いただいております。

昨年の初め頃より内科的疾患ではなく、「入れ歯が壊れてしまった」「入れ歯があわない」



大きく口を開いて検査中!!

「虫歯が痛い」など歯科に関する訴えが住民から目立つようになりました。そこで昨年七月より、沢内病院歯科医の内記先生や歯科衛生士の協力を得、月二回程度の割合でぶなの園の医務室にて歯科診療をしていただいております。診療を開始してから約一年、一八名の住民の方を診ていただきました。その方々の多くはやはり、義歯の不適合でした。義歯を長年使い続けたことにより、歯ぐきがすり減りあわなくなるということが多いのです。治療として、あたって痛みのある部分



は削り、すき間がある部分は床下粘膜調整剤を貼るとい治療をしていただきました。

次に多かった訴えは、義歯の欠損です。義歯は上下一つずつしか作らないのが普通です。長年使うことにより歯が数本欠けることも珍しくなく、また義歯の金属がとれているものもあり修理していただきました。また、虫歯や歯周病の症状のため抜歯やその他にあつた口腔ケアの指導もしていただきました。口腔内を清潔に保つということは、高齢者の方に多い嚥下性肺炎の予防にもつながるといわれています。

今回義歯を修理された男性住民の方は「入れ歯を直してもらってから、昔みたいに肉がおいしくなった」また虫歯を治療していただいた女性住民の方か

## 新しい住民 ご紹介

平成一四年三月、  
平成一四年五月



川舟 富田 キサさん (84歳)

よろしく  
お願いいたします

らは「抜く時は痛かったがそれからは痛くなくなりよかった」など喜びの声が聞かれました。口腔内を健康に保つことで住民に笑顔が戻ってきました。おいしく食事を摂れることは、生きる喜びにもつながると思えます。

これからも住民の笑顔と喜びのため一人ひとり歯の状態をみていただきたいと思います。  
〈特養 看護師 清水直子〉



# 高齢者サービスのパンフお届けします!!

— 沢内村在宅介護支援センター —

今年度、支援センターでは、高齢者に関する保健・医療・福祉サービスの種類や内容を書いた資料を、沢内村約一〇〇世帯に全戸配布いたします。この目的は、高齢者の方々やご家族などが介護のことなどでどこかに相談したいときに、ご利用いただくためです。

沢内村は三月末現在、人口四二九人、そのうち六十五歳以上の方々は一三四四人、人口全体の三



農作業中ですが 会話がはずみます

二・六%となっています。また、介護保険要介護認定を受けておられる方は、一九三人、そのうち実際にサービスを利用されている方は、デイサービス、ホームヘルプサービスといった居宅サービスでは一五人、特別養護老人ホーム等の施設サービスは六十人となっています。平成十二年度より介護保険制度が始まりました。高齢者福祉サービスを利用するには、心身の不自由の具合を調べてもらう要介護認定を受けるということを、多くの方々がこの二年間でお分かりになったと思います。しかし、高齢者福祉サービスは、介護が必要となった方々のものだけではありません。誰もが健康で毎日元気に生活できる

よう、介護予防や生活支援、生きがいづくりといった介護保険以外のサービスがあります。生きがいデイサービス、ホームヘルプサービス、寿昼食会や訪問看護など、介護保険以外のサービスから、介護保険対象のサービスへと、順を追ってお知らせします。サービスを必要とする方が利用しやすいように、また、高齢者に関する悩みごとや心配ごとを抱えている方やサービスを利用しない方にも知っていただけるようにご紹介していきます。

皆さんの生活に、少しでもお役に立てればと思っています。



村内 全部の 家々に、 目次と 支援センターのサービスの内容を綴ったファイルをお届けします。その後、目次の順番どおりに順次、サービスの内容を書いた資料をお配りいたします。最終的には、そのファイル一冊で高齢者福祉に関するサービスがわかるようにしていきます。

生活相談員 伊藤てるみ

## 作られたの食事はいかがですか？

介護保険下では利用者個人の心身の状況に沿った食事の提供が求められています。かたくりの園デイサービスセンターでも前述の心身の状況に応じた食事や沢内ならではの食事を提供していくことになりました。

まず沢内村にこの旨を相談。サービスの質的向上にも良いの

で、出来ればそうしてほしいとの返答を村長よりいただきました。その上で、厨房スペースが狭く、保健所の指導をうけながら、改装・修繕工事を行いました。四月末ごろから調理員の研修また必要物品の購入などの準備を行い、五月一三日より実際に利用者へ調理した昼食を提供し

## 地域とのつながりを... 在宅での高齢者の生活を地域の方々と共に支え合います



支援センターが毎年度初めに 行っている相談協力員さんとの懇談会は、今年で四回目です。今年も村内の地区を四グループに分け、懇談会を開催しました。今年度は、各地区の民生児童委員十七名の方々に相談協力員をお願いしました。平成十年度より一部民生委員の方にも相談協力員をお願いし、活動してき

員の皆さんには、支援センターとして気付かされる点や学ばせていただく点が多ありました。なごやかな雰囲気の中で親睦も深まり、有意義な時間だと考えています。二年前から介護保険制度が始まり、支援センターが果たす役割も変わりました。そのひとつとして、介護保険対象外の方を中心とした介護予防・生きがい支援があります。

在宅で生活されている高齢者の方々の状況を教えていただき、介護が必要とならないように、介護が必要な方もそれ以上状態が進まないように、必要があれば計画をつくり援助させていただきます。その中で、支援センターと地域とのパイプ役として協力・連携をしていただいている相談協力員さんは、地

域で生活される方の援助を地域の方々と共にしていく上で、とても大切です。高齢者の介護等について、支援センターに直接話しづらい方は、お近くの相談協力員(民生児童委員)にお気軽にご相談下さい。支援センターと同様に、個人の秘密は守ります。

地域の住民の生活を気遣い、住民の立場に立った質問や意見をたくさん出していただき、熱心に話して下さる相談協力員



活発な意見がつきません!!

が進まないように、必要があれば計画をつくり援助させていただきます。その中で、支援センターと地域とのパイプ役として協力・連携をしていただいている相談協力員さんは、地



「あやーしどけは初ものだあー」

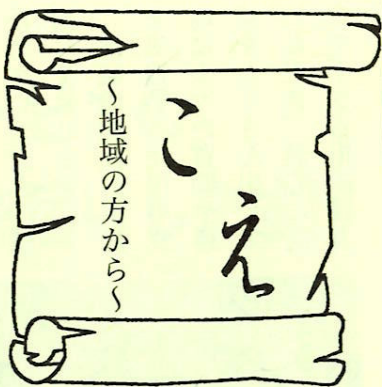
たくりに) 来るのが楽しみだなど利用者の評判も上々です。現在は始まったばかりで、利用者の嗜好などお聞きしていただくため、好き嫌いのアンケート等も実施し、より利用者の方に喜ばれる食事作りを目指していきたいと思っています。

最後にかたくりの園の食事を支えて下さいました、支配人をはじめ沢内バーデンの皆さん、長い間ほんとうにありがとうございます。バーデンの味に負けないよう、職員一丸となり食事提供していきたく思います。

栄養士 丹波直人







今回は沢内村老人クラブ連合  
会会長として活躍されている  
久保喜代理さんです。喜代理さ  
んは今年よりやすらぎ会評議員  
としてご尽力いただいています。  
「これからのやすらぎ会へ期待  
すること」というテーマでこえ  
を寄せていただきました。

### 村民から信頼される 施設に

この度沢内老連の会長の立場か  
ら今後のやすらぎ会への期待に  
ついて投稿下さるよう依頼があ  
りましたので拙い文章で失礼と  
思ひますが唯感んづるまゝ(申  
上げましてご容赦下さい。)  
このやすらぎ会の各施設は村  
民にとっては永年の切実な願ひ  
であった。又我々老人にとって  
はこの上ない喜びでもありまし

## 遠慮せずに 行きたいところへ



人間にとって足は、歩いて自  
分の思う所へ移動できるという  
ことが分かります。特に地理的に  
遠い場所への移動は村内だけで  
も大変です。

沢内村は県道が南北に約三〇  
キロ。しかしスクールバスを除  
くと一日六本のバスしかありま  
せん。県道に出る近くにご自宅  
があれば別ですが左右奥に入っ  
た所では、このバスさえ利用で  
きないのです。

ご自宅に自動車があっても、  
ほとんどが通勤や農業での使用  
であり、ご家族に病院などへの  
送迎をお願いできる方は限られ  
ます。

た。村財政の厳しい中であつて  
村長さん初め村議会の暖かいご  
配慮の賜物であり深甚なる敬意  
を表したいと思ひます。

私、昨年の十一月やすらぎ会  
の評議員に理事長  
より委嘱を受けそ  
の実態を知り心強  
く感じたところ  
です。地域に開か  
れた施設として役員一体と  
なつて鋭意努力され経営の安定  
を図りつつ又現場に働く職員初  
め介護の寮母さん方々の献身的  
な努力は高く評価出来るもので  
あります。



久保喜代理さん

められ、又期待感も高まり生活  
して居る住民の家族の信頼を深  
められる事を望むものです。  
沢内村は今更申し上げるまで  
もなく少子高齢化が進行すると  
共に独居老人  
や老人家庭が  
増大して居  
ります。又介  
護を要する人  
達もやすらぎ会の施設への入所  
待ちも相当数居る現在の状況を  
憂慮するものであります。  
その対応策について今後の検  
討課題であり施設の整備や増設  
等が急務であると考えられます。  
当局の特段のご配慮を切に望む

## ご覧下さい ご家族の様子を

特別養護老人ホーム(以下  
「特養」という。)の住民やデ  
イサービスセンターなど在宅の  
サービスを受ける利用者には、  
それぞれ個別台帳があります。  
病院で言えばカルテに当たりま  
す。



十八十色と言います。同様に  
特養であれば五十人余りのお顔  
性格、これまでの長いその方の  
生活史、これらは全て違います。  
従つて例え、  
お身体や心の状  
況が同じよう  
あつても、私ど  
も職員の見守り

このような沢内村で、現在高  
齢者の足の頼りとなつて  
は次のようなもの  
です。第一は病院通院の送迎バスで  
す。一日一往復で、月曜日から  
金曜日までほとんど異なる地域  
を走ります。朝ほ  
ど利用  
できて帰りは、診  
療を受ける  
人、薬だけの  
人、その他で  
終わる(帰れる)  
時間がバラバ  
ラです。早く終  
わり、帰りの  
バス時間まで  
待つのは大変  
です。

やすらぎ会のホームヘルプ  
サービスでも通院送迎がありま  
す。現在12人の方が利用してい  
ます。送迎は必要でも、待ち時  
間は、一人で大丈夫な場合、  
ホームヘルパーは待つ時間が  
もつたいない等、利用者の要望



あやヘルパーさん  
来てけで助かるなあー

法や生活援助の内容は違います。  
例えば特養住民が車イスの生  
活となりました。居室から浴室  
までは結構な距離なので、私は  
「少しだけ押しましようか」と  
言いました。答えは「いい、オ  
ラが一人でやらねば、力が出な  
くなつてしまふから」とのこと。  
逆に「疲れるから頼む」との返  
と職員都合が合わない場合も  
あります。  
社会福祉協議会では一回五百  
円で運転ボランティアによる  
サービスをしています。これに  
はボランティアと職員が対応し  
ております。  
年を重ね足が弱くなる。田畑  
の仕事も少しずつ出来なくなる。

処です。  
我々老人クラブとしては健康  
維持の為色々活動に真剣に取  
り組んで居るものの、最悪の事  
態を想定致す時頼れる施設があ  
るといふ安心感があるからです。  
高齢者や障害者が住み良い村  
であるかどうかは介護保険制度  
のもとで行われる介護サービス  
の充実度であると思われ  
ます。  
又村で定めて居る介護サ  
ービスのメニューを充足され  
ます。  
今後やすらぎ会が村民から尊  
敬され信頼され期待されるよう  
ご活躍下さる事を願つて終りま  
す。



私ども職員に  
とつては、この個  
別台帳に、それぞ  
れ援助役割の異な  
る職員が必要な事柄を記録する  
ことにより、生活の流れが分か  
ります。つまり統一した介護の  
方法や生活援助ができます。  
一対一の介護は食事や入浴な  
どに限られますが、グループで  
の活動等にも役立ちます。

事もあります。  
このように個人台帳を援助の  
柱として介護や生活の援助の方  
法や内容を決め、それぞれの立  
場で住民、利用者を中心にして  
より良い介護を実施していきま  
す。個人台帳を通し、ご家族の  
生活状況、活動状況をご理解下  
さい。〈施設長 上野米子〉

しかし、せめて買い物や郵便局、  
病院等は自分で行きたい。ぶな  
の園を見学に来られたある老人  
クラブの方の言葉が今も頭に残  
ります。「やすらぎ会のホーム  
喫茶に来たくても自動車がなく  
てはどうしようもない。バスを  
利用したらホーム喫茶は安くて  
も往復のバス賃が高くて」  
「買い物、病院、役場そして少  
しの楽しみ……」

これら高齢者の要望を保障す  
るにはどうすべきか。  
やはり、沢内村として高齢者  
の社会的生活を保障するにはど  
うすべきかの施策を考える時期  
なのではないでしょうか。

〈介護支援専門員

佐々木愛子〉



## ホーム喫茶のご案内

【開 店 日】

7月21日(日)

8月18日(日)

9月15日(日)

【ご利用時間】

13:30~16:30

【場 所】

ぶなの園

地域交流の場

お待ちしております!

## 編集後記

山にやっと緑が生い茂り吹く風は葉っぱの匂い…民家の庭先や土手一面に花がほころび…

いつの間にか春もおわって初夏の日差しを感じるこの頃…。

前と後の景色に毎日感激!!

川の水の青さに感動!!

大自然ってすばらしい!!

今年度より編集委員が変りました。

つたないながらも一生懸命つくっています。

感想等、是非およせ下さい。

〈やすらぎ会広報委員〉

丹波直人 高橋 渉 大澤利幸

梶本明男 照井徳子 高橋紅子

佐々木菜穂子 丹波りか

田中江美

## 感謝申し上げます

平成14年3月~平成14年4月

【ご寄付】

・菊池菊治様

【ご寄贈】

・刈田秀雄様

・大石テツ子様

・高橋肇様

・鎌田五郎様

・高橋アヤ子様

・猿橋郵便局様

・沢内村理容組合様

【ボランティア等】

・高橋正慶様

・長瀬野婦人会様

・太田若草会様

・新町婦人会様

・泉沢婦人会様

・結いっこの会様

・沢内村理容組合の皆様

・大野婦人会様

・野中サダ子様他ボランティアグループの皆様

・趣味の会様

・高橋昭士、和子様

在宅での介護のお悩みは

**在宅介護支援センター** にご相談ください

《電話番号》

**(0120)85-2319** (☎支援センター直通)

**85-2322** (土・日・祝日、夜間対応)

お気軽にどうぞ!